



自動車リサイクル促進センター 沖縄振興開発金融公庫発行の サステナビリティボンドに投資 ～ 持続可能な社会の実現に貢献 ～

公益財団法人自動車リサイクル促進センター(所在地:東京都港区、代表理事:中村崇)は、本日、沖縄振興開発金融公庫が発行するサステナビリティボンドに投資を行いました。

本債券は国際資本市場協会(ICMA)が定める「サステナビリティボンドガイドライン 2021年版」、「グリーンボンド原則 2021年版」、「ソーシャルボンド原則 2021年版」および環境省が定める「グリーンボンドガイドライン 2020年版」に適合した債券として、第三者機関によるセカンドオピニオンを取得しています。本債券で調達された資金は、医療資金の融資(病院・介護老人保健施設などの新築資金や医療機器の購入資金等)、林業基盤整備資金の融資(森林の保育・保護・保全等の育林や樹苗養成施設の改良・造成への資金等)、省エネ賃貸住宅の建設に対する融資などに充当されます。調達資金の充当状況および社会・環境的課題の改善効果を始めとするレポートが沖縄振興開発金融公庫のウェブサイトにて開示されることについて、第三者機関が確認しています。

本財団は、ESG投資を通じて環境問題や社会問題の解決に貢献し、持続可能な社会の実現に向けて、社会的責任を果たしていきます。

<本債券の概要>

債券名	第30回沖縄振興開発金融公庫債券
年限	10年
発行日	2021年12月17日
発行総額	100億円
沖縄振興開発金融公庫ウェブサイト	https://www.okinawakouko.go.jp/

<JARC の ESG 投資>

現在、ESG 投資は、SDGs(持続可能な開発目標)の採択やパリ協定の発効など、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを進めていくとした潮流を背景として、国内外で急速に拡大しています。

本財団は、自動車ユーザーからお預かりしたリサイクル料金 9,353 億円(2021 年 3 月末時点)の管理・運用を通じて、持続可能な社会の実現に寄与する ESG 投資^{*1}を積極的に行っています。

そして、公益法人における ESG 投資のトップランナーとして、更なる ESG 債市場の発展に寄与すべく、発行体とのエンゲージメント(建設的な対話)^{*2}についても積極的に取り組んでいるところです。

*1 JARC の ESG 投資の方針 <https://www.jarc.or.jp/automobile/designated-corp/fund/esg/>

*2 発行体とのエンゲージメント <https://www.jarc.or.jp/automobile/designated-corp/fund/engagement/>

<JARC の概要>

自動車のリサイクルおよび適正処理の促進に関する各種事業を行うことにより、資源の有効な利用の向上および環境の保全に貢献することを目的とする公益法人。

所在地	〒105-0012 東京都港区芝大門 1-1-30 日本自動車会館 11 階
設立	2000 年(平成 12 年)11 月 22 日
理事長	なかむら たかし 中村 崇
自動車リサイクル法 指定法人業務の主務官庁	経済産業省、環境省
JARC ウェブサイト	https://www.jarc.or.jp/

(メディア関係者様のお問い合わせ先)

公益財団法人自動車リサイクル促進センター
広報・理解活動推進部
電話 : 03-5733-7144